

3学期の、そして、令和6年度の終業式を迎えました。

みなさんの、令和6年度はどうだったでしょうか。

今日、皆さんとともに無事3学期を終えられることを、生徒の皆さん、保護者や地域の方々、そして教職員の皆さんに心から感謝します。本当にありがとうございます。

3月1日に卒業生を送り出し、体育館に集まる全校生徒の人数も当然少なくなり、寂しさを感じている人も多いのではないかと思います。

しかし、4月になると、新入生を迎えます。新たな気持ちで入学してくる新1年生たちを、南高の先輩として胸を張って迎えられるように、皆さん一人ひとりが春休みの過ごし方に注意してほしいと思います。

3年生になる人は、高校最後の総体、高校最後の体育祭、高校最後の文化祭などを迎えることとなります。そして、いよいよ進路決定の学年となります。2年生になる人は、今までは先輩についていくという立場でしたが、これからは新1年生をリードするという立場となります。

この1年間、ずっと言ってきましたが、スタートを先送りしないようにしましょう。スタートを切るのに早すぎることなどありませんし、遅すぎるということもありません。スタートしなければならぬのなら、スタートするしかありません。早くスタートを切ったら、いろいろなことに余裕を持って対処することができます。スタートが遅れたら、少しペースを上げて走るだけです。繰り返しますが、少々スタートが遅れても、ずっとスタートしないことより断然よいことは言うまでもありません。少々遅れても問題はない。スタートするだけだ。必ず走れる。絶対に走りきれぬ。

3学期の始業式に、私は、今年は「乙巳(いつし)」の年なので、自分の中にある「頑なな心」を自覚して、柔軟な心を持つよう意識すれば、大いに成長できるのではないかという話をしました。皆さん、「柔軟な心」を持つことを意識できているでしょうか。忘れていたという人は、是非、意識してみてください。

アンテナを高く張って、自分自身や周囲の変化に敏感になりましょう。困っている人がいたら手を差し伸べる人になりましょう。一人ひとりのいのち、健康を大切にしましょう。

それでは、令和7年度1学期の始業式に、元気な笑顔の皆さんに再会できることを楽しみにしています。